

第三次滋賀県環境総合計画の改定について

1 滋賀県環境総合計画の策定の根拠・趣旨

県では、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、滋賀県環境基本条例第12条に基づき「滋賀県環境総合計画」を平成9年10月に策定、平成16年3月に「新滋賀県環境総合計画」として、平成21年12月には「第三次滋賀県環境総合計画」(現行計画)として、それぞれ改定された。

2 第三次滋賀県環境総合計画の改定について

現行計画では、平成19年(2007年)12月に策定された県の最上位計画である「滋賀県基本構想」や、平成20年(2008年)3月に策定された「持続可能な滋賀社会ビジョン」を踏まえつつ、「低炭素社会の実現」と「琵琶湖環境の再生」の2つの長期目標を掲げている。(資料参照)

また、平成21年度(2009年度)～平成25年度(2013年度)まで5年間に講じるべき施策の基本方向を示しており、平成25年度末で計画期間が終了することとなる。

このため、今後の滋賀県の環境施策のさらなる実効性を高めるため、社会・経済等の様々な情勢の変化に対応し、現行計画の点検・評価を踏まえた上で、平成26年3月の改定を目指して作業を行う。

(環境総合計画の策定)

第12条 知事は、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画(以下「環境総合計画」という。)を定めなければならない。……中略……

4 知事は、環境総合計画を定めるに当たっては、その基本的な事項について、あらかじめ、滋賀県環境審議会の意見を聴かなければならない。

6 前3項の規定は、環境総合計画の変更について準用する。

3 現行計画策定以降の主な動き(平成21年度以降)

【滋賀県における動き】

滋賀県基本構想「未来を拓く8つの扉」の策定(平成23年度)

滋賀県低炭素社会づくり推進に関する条例の制定(平成23年度)

滋賀県低炭素社会づくり推進計画(平成23年度)

マザーレイク21計画(第2期改定版)の策定(平成23年度)

【関西および日本国内の動き】

関西広域連合の発足(平成22年度):広域環境保全局の事務局を滋賀県が担当

3.11東日本大震災の発生および原発の事故(平成22年度)

電力逼迫に伴う節電行動～関西広域連合および滋賀県での取組(平成23・24年度)

国の第四次環境基本計画の策定(平成24年度)

【世界の動き】

生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の名古屋開催(平成22年度)

国連持続可能な開発会議(リオ+20(平成24年度))

4 現行計画の内容および推進状況(平成23年度(2011年度))

1) 「数値指標」の進捗状況

- ・ 目標に対する達成度は下記表のとおり、概ね順調
- ・ 一部の指標については、25%以下となっているものもあるので、目標達成に向けたさらなる努力を促している。

[数値指標全39指標の進行管理結果]

達成率(目標に対して)	星の数	指標数
100%以上	(星5つ)	10指標
99%～76%	(星4つ)	7指標
75%～51%	(星3つ)	6指標
50%～26%	(星2つ)	4指標
25%以下	(星1つ)	3指標
算出不能	-(バー)	9指標

* 達成率は、計画策定時の基準年度実績を0、中間目標を100とした場合の実績値達成状況としています。

[算式]

中間目標が、基準年度実績より数値の増加を目指すものは

$$* (\text{平成23年度実績} - \text{基準年度実績}) / (\text{平成25年度中期目標} - \text{基準年度実績}) \times 100$$

中間目標が、現状より数値の減少を目指すものは、

$$* (\text{基準年度実績} - \text{平成23年度実績}) / (\text{基準年度実績} - \text{平成25年度中期目標}) \times 100$$

2) 「重点プロジェクト(9つ)」の実施状況

低炭素社会の実現(6つのプロジェクト)

1「みるエコおうみ」プロジェクト、2「しが炭素基金」プロジェクト、3「農産物の地産地消の確立」プロジェクト、4「県産木材の利用促進」プロジェクト、5「持続可能な交通システム」プロジェクト 6「わが家もソーラー発電所」プロジェクト

一部のプロジェクトにおいて、進捗状況が目標を下回っているものもあるが、プロジェクト構成事業の進捗は順調に推移している。

琵琶湖環境の再生(3つのプロジェクト)

7「琵琶湖と暮らしの関わり再生」プロジェクト、8「琵琶湖の生きものにぎわい再生」プロジェクト、9「水環境の保全」プロジェクト

マザーレイク21計画(第2期改定版)の重点プロジェクトに位置づけており、全庁的な取り組みを進めている。

5 スケジュール(予定)

- 平成25年3月 環境審議会に諮問 (環境企画部会にて4回程度の審議)
- 平成25年8月 環境審議会から答申
- 平成25年9月 県民政策コメント実施
- 平成26年2月 県議会で議案提出

6 検討の進め方

